

(令和4) 年度 学 童 ク ラ ブ 事 業 年 間 活 動 報 告 書

(京都市一橋) 学童保育所

	活動の基本目標 (指針)	主 な 取 組 名	成 果 と 課 題
生活援助機能	安全・衛生の確保 健康の管理・情緒の安定 基本的生活習慣の確立 社会生活技術の獲得	<ul style="list-style-type: none"> ・机・遊具の消毒 ・来所時・検温・体調管理手洗い・うがいの徹底 ・荷物の整理・片付け ・連絡帳の提出 ・宿題・学習時間の設定 ・帰所時 (集団帰り) の安全指導 	<ul style="list-style-type: none"> ・育成や職員室・トイレなど消毒を行うことにより新型コロナの感染防止に繋がった。 ・児童の来所時。手洗い・うがい・検温の励行することにより利用者の安全・所の新型コロナの感染防止策が保護者の理解を得られたように思われる。 ・連絡帳の提出を徹底するように児童に声をかけたことにより、連絡帳の提出率が100%に近い提出率になった。保護者からの連絡事項などの情報共有が図れ、保護者との連携に繋がった。(2月まで) ・3月からはICT (さくらdays) を活用し、保護者との情報共有がより一層深まった。 ・帰りの会などで、帰所時に安全指導を行うことにより、児童の安全意識が高まった。
子ども育成機能	生活体験の拡大 社会性の養成 自立の促進と自主性の尊重	<ul style="list-style-type: none"> ・遊びの援助 ・班活動 ・壁面製作 ・ぬりえ大会 ・宿題がんばりシール ・家族の方へのプレゼント作り ・避難訓練 ・はるるさんの紙芝居 ・クリスマス会 ・防災訓練 (火災・地震) ・安全教室 (防犯) 	<ul style="list-style-type: none"> ・お友達との遊びのきっかけ作りが苦手な子に職員が中に入り、友達づくりのパイプ役を行うことにより、児童同士の交流が図れ、友達の幅が広がった。学童を利用して楽しいと感じられるようになったかと思う。 ・壁面製作に児童が関わることにより、創作活動に意識が高まった。 ・ぬりえ大会を行うことにより、創作意欲が高まった。また、他の児童の作品を見ることで、お友達を認め合えるきっかけ作りになった。 ・宿題をがんばった子にご褒美のシールを与えることにより、学習意欲が高まった。 ・普段中々感謝の気持ちを伝えることが苦手な子が多い中、プレゼントにメッセージを添えることにより、感謝の気持ちを伝えることができた。また、親子の絆を深めることができた。 ・避難訓練を行うことにより、児童、職員の防災・防犯意識が高まった。ただ、月2回と実施予定していたが、新型コロナの影響があり、実施が年1回しかができなかった。 ・プロの紙芝居師の公演を体験することにより、子どもたちの感受性が高まった。 ・行事を行うことにより、子どもたち同士の絆が深まった。ただコロナの影響もあり、行事の実施回数が少なかった。 ・防災訓練 (火災・地震) を行うことにより、子どもたちの防災意識の向上に繋がった。 ・不審者の遭った時の対処法など、また遭わないようにどうすればよいのか警察の方から教わることにより、子どもたちの防犯意識が高まった。
子育て支援機能	子育てに必要な情報の提供と交換 子育ての仲間づくり 子育てを支えるネットワーク形成	<ul style="list-style-type: none"> ・おたより発行 ・家庭との連携 ・学校との連携 ・関係機関各所との連携 ・保護者との面談 ・OBOG支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・おたよりを月1回発行することにより、学童の様子を保護者に伝えることができた。 ・保護者と個別面談することにより、保護者の悩みや相談事などを聞くことにより、保護者との信頼関係が築けた。また、学童での児童の様子なども伝えることができ、保護者との情報共有が図れた。 ・学校や関係機関との連携を図ることにより、配慮を要する児童の情報共有ができ、児童に関わる機関全体で支えることができたように思われる。 ・OBOGの悩みや相談を指導員が聞き、児童の拠り所や居場所作りができた。